苫工同窓会

発行
苫工同窓会本部
同窓会会長　渡辺健治
事務局長　柏倉幸一
苫小牧市字高丘6-22
TEL 0144-37-3088

令和7年度 定期総会開催

5月24日 グランドホテルニュー王子

参加者集合

定期総会

令和7年度定期総会並びに懇親会が5月24日（土）苫小牧市内のグランドホテルニュー王子に於いて開催されました。

来賓の学校関係者・広告協賛企業代表者を含め80余名の参加があり盛大に行われました。

総会は渡辺会長の挨拶があり、その後議長団として会長・副会長が登壇し、事務局より報告事項、協議事項の説明があり決算・予算・事業計画とも原案通り承認されました。

新たな組織運営を構築

同窓会会長　渡辺健治

令和7年5月24日GHニュー王子にて定期総会が開催され1年間の事業報告・収支決算報告と、令和7年の事業計画・収支予算案が無事承認され定期総会を終えることができました。

総会には、同窓生はもとより本校小山校長をはじめ役職員、同窓会運営にご理解をいただいております協賛企業を含めた80名を超える出席をいただき、懇親会は内田忠吉副会長から提供されたワインと数多くの景品でのお楽しみ抽選会で実に和やかな雰囲気で開催することができました。

昨年、総会の役員改選で副会長が7名から14名体制になり同窓会本部機能強化が図られ事業計画に基づいて各副会長に総務・財務・企画部会など本部として役割を分担していただき、この度の総会から総務部会に準備をお願いしました。

また、総会前に各支部長会議を開催させていただき議題として①各支部の現状確認②支部における年度内事業計画③本部事業計画に基づく支部間交流について④会員への本部総会出席要請について、忌憚のない意見交換をさせていただきました。それを基に支部長会議を継続して行うことや会員数維持増強及び支部組織の充実を図るための広報活動が重要であり、同窓会本部の取り組みが今以上に期待をされていると支部長会議を開催した意義を改めて痛感した次第であります。

さらに、同窓会運営に対するご意見や要望窓口となる事務局にはこれまで以上の情報の共有化を図るためにホームページの充実化や同窓生の動向調査、機関誌の発刊、母校との情報交換、インターンシップによる教育実習を通してより同窓会からの情報提供を積極的に行っていきたい。

終わりに、我が母校は大正12年3月に設立し一昨年には100周年を経た所であり、3年後の大正15年（昭和元年）の3月に第1回の卒業生73名を送り出しこの年に同窓会が発足され、来年の令和8年度が同窓会設立100周年に当たることから、今後の活動に於けるスローガンを『世紀（れきし）を繋ぐ絆、輝かしい伝統を受け継ぎ、未来へ』と掲げ、同窓会の運営にあたり資料や掲示物にスローガンを掲載していく所存です。

今年度の事業として、事業計画にある通り企画部会にて会員相互の親睦交流を図るべく7月下旬に納涼情報交換会を実施する予定でありますので今後とも同窓会本部の運営に特段のご理解と会員皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

懇親会

総会後、同じ会場に於いて懇親会が行われました。来賓の学校関係者・広告協賛企業者を代表し小山校長より近況報告を含めたご挨拶があり、関東六華会篠原会長の発声で宴が始まりました。

創立100周年を迎える

我が母校は大正12年3月に創立され、一昨年には100周年を経た所であり、大正15年（昭和元年）の3月に第1回の卒業生73名を送り出しています。この年に同窓会が発足され、来年の令和8年が同窓会創立100周年に当たります。

今後の活動に於けるスローガンを掲げ同窓会の運営に当たります。

スローガン

世紀（れきし）を繋ぐ絆、
輝かしい伝統を受け継ぎ、
未来へ

総会スナップ

小山校長ご挨拶

渡辺会長ご挨拶

懇親会

抽選会

宴の中頃には、お楽しみ抽選会を用意し数多くの方々に当たるよう景品を用意いたしました。その中には、内田副会長よりワイン20本が提供されたと報告すると会場内からは響めきがおこり華を添えていただきました。

乾杯の発声　篠原六華会長

抽選会

校歌斉唱

校歌斉唱

エールを買って出る

校歌斉唱後お決まりのエールを贈る場面でハプニングがありました、予定者を押しのけ土木43年卒の工藤清一さんが登場し会場内を沸かせておりました。来年もよろしく！

校歌斉唱

唯一女性の参加者

今回唯一の女性　幸正百合子様（機械37年卒）が参加されました。一昨年の100周年事業では大変お世話になると同時に入会していただき、今回はクラスメイトの勧めもあり参加され、会場内を廻り楽しい時間を過ごされておりました。

幸正百合子　様

春の叙勲で受章

当会員である、電気43年卒森元昇治様が電気施設保全業務功労として瑞宝単光章を授与されました。

森元様は卒業後、北海道電力静内電力所に永年勤務され上記業務に携わられ今回の受章になりました。誠におめでとうございます。